

生徒指導部通信

令和4年度第1号
令和4年4月26日
文責 田中 優樹

■ 相手のために、思いやりのある行動へ

今年度は、「相手のために、思いやりのある行動へ」という目標を胸に、みなさんと過ごしていきたいと思えます。高校生活の中で具体的にどのような行動が求められるのか考えていきましょう。

第一に「きまり」を守りましょう。集団生活の基本です。本校では全校生徒、先生方を合わせて約100人が集団生活を送っています。100人いれば100通りの考え方があります。それぞれが好き勝手に行動してしまうと、集団が成り立ちません。それは、えりも高校に限らず、皆さんが社会に出た時にもそうです。「これくらいいいだろう」という気持ちが、相手に迷惑をかけることを理解してください。「自由に生活したい」や「自由に好きなことをやりたい」、そういった「自由」を求める声もありますが、きまりの中にこそ自由があることを理解しなければなりません。

また、相手やまわりの自由を尊重することが大切です。「きまり＝学校のルール」は、皆さんが安心・安全に生活するための最低限の約束事です。安心・安全があるからこそ、自由を求めて生活することができます。言い換えれば、「きまり＝学校のルール」があるからこそ自由を求められるのです。学校のルールを通して、「自分を律することができ、社会で活躍するための力」や「思いやりの心」を身に付けてください。

さらに、マナーやモラルについても考えましょう。挨拶、礼儀、感謝の言葉、気遣い…、きまりには記載されていないことです。だからといって疎かにしては、人として成長することはできません。人間として生まれてきたからこそ、相手を思いやる心があります。その心をより良いものにしていくことができるように、この1年間、みなさんの成長を楽しみにしています。

「心が変われば人生が変わる」

心が変われば態度が変わる。

態度が変われば行動が変わる。

行動が変われば習慣が変わる。

習慣が変われば人格が変わる。

人格が変われば、運命が変わる。

運命が変われば、人生が変わる。



野村克也より

◎ぜひ活用を！

価値観が多様化し、悩みを抱えることはたくさんあり、悩んでいるのは自分だけではありません。そんな時は誰かに相談しましょう。まずは気軽に先生方に話してみてください。(えりも高校 01466-2-2405)

また、保護者の方や学校の先生に話しにくい場合は、外部機関を利用することもできます。

◆北海道教育委員会 子ども相談支援センター (0120-3882-56 ※無料・24時間対応)